

令和4年度 事務事業評価シート（1）

〔令和3年度事務事業〕

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	アジア諸国との交流事業			事業番号	008-026
担当部署名	文化観光	局	国際	部	アセアン交流推進室 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(4)文化芸術の振興・国際交流の強化	
		有	取組の方向性	③姉妹・友好都市やアセアン諸国などの国際交流の強化				
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—			
		有	取組	パートナーシップ強化に向けた姉妹友好都市、アセアン地域などの連携促進				
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—	
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	堺市国際化方針						
3	事業開始年度	平成 20 年度	終了（予定）年度	令和 7 年度				
4	実施根拠（根拠法令、条例等）							

事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	堺市及び堺・アセアンウィーク実行委員会（事務局：アセアン交流推進室）				
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	【堺側】アセアン各国と交流がある、または交流を望む企業・団体・学校等を含む堺市民。 【アセアン側】日本語、日本文化を学んでいるなど日本に強い関心を持つ市民。特に将来のナショナルリーダーとなりうる学生。	対象数	-		
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	①多文化共生のまちづくりの推進、②アセアン各国との交流を通して、国際感覚豊かな人材育成を図る、③アセアン各国との経済・文化・観光・教育・環境等各分野での相互交流を促進する、④堺市のPR・プロモーション及び海外人材とのネットワークを形成することにより、アフターコロナにおける、世界の人々が行き交い、来堺者が増加し、にぎわいあふれる国際都市をめざす。				
8	事業内容（目的を達成するための手段） ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<ul style="list-style-type: none"> ●堺市所管事業 ①ダナン市友好都市交流事業（日本語学生、伝統文化、介護等各分野でのオンライン交流）、②外国公館（在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館）連携事業 ●堺・アセアンウィーク実行委員会事業 ①アセアン各国とのオンライン交流（小～大学各世代の年間を通じた交流）、②語学・料理・工芸等の各国文化講座の開催、③アセアン各国の映画上映会の開催、④アセアン諸国の風景、歴史的建造物や文化的催しなどを撮影した写真を公募（コンテスト）し、表彰作品を展示する、⑤関西圏在住の留学生や社会人を講師として市内校に派遣する出前講座を実施。 ●共通事業 ①HP及びYouTubeやfacebook等のSNSを通じた情報発信・PR 				
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	堺・アセアンウィーク実行委員会				
10	公民連携・協働事業					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標（目的の達成状況を測定）	単位	実績		目標	目標（終了（予定）年度）
	アセアン諸国との交流事業参加者数	人	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度
			目標値	2,000	2,500	5,000
			実績値	157	2,042	
達成率	—	102%				
	当該指標を選定した理由	友好都市ダナン市やアセアン諸国等との幅広い分野での国際交流推進の指標となるため				
	目標値の設定根拠・算出方法	新型コロナ禍により、令和3年度から交流手法をオンライン主軸に変更した。 【目標】ダナン市友好都市交流及び堺・アセアンウィーク事業における交流者数				
12	活動指標（成果を上げるための手段）	単位	実績		目標	
	アセアン諸国との交流事業開催数（令和3年度）	回	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
			目標値	30	35	
			実績値	40		
達成率	—	133%				
	当該指標を選定した理由	友好都市ダナン市やアセアン諸国等との幅広い分野での国際交流推進の指標となるため				
	目標値の設定根拠・算出方法	新型コロナ禍により、令和3年度から交流手法をオンライン主軸に変更した。 【目標】ダナン市友好都市交流及び堺・アセアンウィークにおける交流事業開催数				

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	アジア諸国との交流事業	事業番号	008-026
-------	-------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト ※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	28,875	13,297	27,940	13,487	6,318
13財源内訳					
国支出金		1,757			0
府支出金					0
市債					0
その他（国際交流事業指定寄附金）					0
受益者負担金(使用料、手数料等)					0
一般財源	28,875	11,540	27,940	13,487	6,318
14人件費 (b)	32,400	32,800	32,800	32,800	46,100
15年間経費(c)=(a)+(b)	61,275	46,097	60,740	46,287	52,418

事業費の内訳 (単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源
堺・アセアンウィーク開催負担金	R3 決算	1,149	1,149	自動車借上料	R3 決算	0	0
	R4 予算	3,580	3,580		R4 予算	162	162
謝礼金	R3 決算	161	161	普通旅費	R3 決算	20	20
	R4 予算	446	446		R4 予算	161	161
会場等借上料	R3 決算	39	39	消耗品費	R3 決算	80	80
	R4 予算	748	748		R4 予算	140	140
通信運搬費	R3 決算	21	21	筆耕翻訳料	R3 決算	55	55
	R4 予算	587	587		R4 予算	55	55
その他使用料及び賃借料	R3 決算	0	0	その他	R3 決算	11,962	11,962
	R4 予算	277	277		R4 予算	162	162

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
17 ① アセアン諸国との交流事業参加者数	人	157	2,042
② 上記①にかかる年間経費	千円	548	1,555
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	3,490	762

備考（算出についての説明等） ※年間経費に人件費は含まない

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 令和3年度は、オンラインを主軸とした交流手法へ変更し、国際交流を通年化した。これにより、事業費を削減しながら、友好都市ダナン市やアセアン諸国との交流において、交流世代を拡大し、交流回数及び交流者数の増加へ繋げることができた。今後も、国際都市・堺の実現に向け、教育分野等の文化交流にとどまらず、介護や経済分野など、交流分野の多様化を促進する。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 令和3年度策定の「堺市国際化方針」に基づき、友好都市ダナン市やアセアン諸国との幅広い分野での国際交流を推進するとともに、多様な文化背景を理解し、国際社会で活躍できる次世代の人材育成につながる施策を企画、実施したことで、国際交流の強化に寄与した。